

令和8年度 入学式 校長祝辞

春の訪れを感じる穏やかなこのよき日に、第80回入学式を挙行了しましたところ、ご来賓の皆様におかれましては、公私何かとご多用の中、ご臨席を賜り、新入生の前途をお祝いくださり、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、心よりお礼申し上げます。今後とも、子どもたちの成長を温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を在校生はもちろん、教職員一同、心より歓迎いたします。3月にそれぞれの小学校を卒業し、別れの寂しさを感じていた皆さんも、今日、この茨田中学校の門をくぐり、新たな出会いへの期待と少しの不安を胸に、この入学式に臨んでいることでしょう。どうか、中学校生活への期待や楽しみを大切にしてください。その気持ちこそが、これからの3年間を支える大きな力となります。

さて、本校は昨年3月に新校舎が竣工し、新しい環境のもとで教育活動をスタートいたしました。明るく整ったこの学び舎で、皆さん一人ひとりが安心して学び、仲間とともに成長していくことを願っています。また、本校は来年度、創立八十周年という節目の年を迎えます。これまでの長い歴史と伝統を受け継ぎながら、新たな歩みをともしにする仲間として、皆さんを迎えられることを大変うれしく思います。

さあ、今日から皆さんは、歴史と伝統のある茨田中学校の生徒です。最初は、小学校との違いに、戸惑いもあるでしょう。しかし、多くの先輩がいます。先生方もいます。安心して中学校生活をスタートさせてください。

中学校生活の始まりにあたり、新入生の皆さんに目指してほしいことを3つお話します。

一つ目は、自分から進んで学ぶ人になってほしいということです。中学校3年間では、社会に出

るための基礎となる知識や技能、課題を解決するための考え方や方法などを身に付けていきます。

また、三年後には進路選択が控えています。自らの夢や目標を実現していくためにも、学習はとて
も大切になってきます。教科ごとに変わる先生方が、教え方を工夫し、わかりやすい授業を進めて
いきますが、大切なのは、教えてもらうだけでなく、自ら学ぼうとする姿勢です。新しい友達との学び
合いの中で、「わかる」ことや「できる」ことを一つ一つ積み上げて、学ぶ楽しさや面白さをたくさん
感じてください。私たち教職員も、皆さんとともに学び続けていきたいと思えます。

二つ目は、思いやりをもち、助け合える人になってほしいということです。自分勝手な言動や相手
が嫌がることをしては、気持ちのよい学校生活を送ることはできません。一人ひとりを大切にし、
相手の気持ちを考えて行動することが、安心できる温かいクラスや学年をつくれます。お互いの意
見や考えの違いを認め合い、互いに高め合うことで、自分も周りの人も豊かに成長していけるので
す。今日から、新しい仲間とともに支え合い、充実した中学校生活を送ってください。

三つ目は、夢や目標の実現に向かって努力し続ける人になってほしいということです。本校の教
育目標は、「夢や希望を持ち、自らの力で未来を切り拓く生徒の育成」です。夢や目標は、すぐに実
現できるものばかりではありません。思うようにいかず、立ち止まりそうになることもあるでしょう。し
かし、そのようなときこそ、あきらめずに続けることが大切です。毎日の授業に真剣に取り組むこと。
自分で決めたことをやり抜くこと。そして、仲間と励まし合い、支え合うこと。こうした積み重ねが、や
がて大きな力となり、皆さんの未来を切り拓きます。今できることに誠実に向き合い、続けていくこと
が、夢や目標の実現と確かな成長につながっていくのです。日々の積み重ねを大切にしながら、自
分の未来を着実に築いていってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。心より

お祝い申し上げます。これからの三年間は、多感な思春期を迎え、心身ともに大きく成長する時期であるとともに、将来の夢や目標の実現に向けた基礎を築く、貴重な三年間となります。今後、お子様のすこやかな成長のために、教職員一同、力を合わせて教育活動の充実に努めてまいります。保護者の皆様におかれましては、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。お子様のことでご心配なことがございましたら、どうぞ遠慮なく学校までご相談ください。

新入生の皆さん一人ひとりのこれからの歩みが、茨田中学校の新しい歴史をつくっていきます。その歩みが、希望に満ちたものとなることを心から願い、式辞といたします。

令和8年4月3日

大阪市立茨田中学校長 齋藤 慶二